

福祉だより ぬくもり



第65号
平成24年10月2日
西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区
分区長 生田 収



「エバグリーンジャズ
オーケストラによるジャ
ズ演奏」をたっぷり楽し
みました。二十歳から七
十歳後半までの幅広い年
齢の皆さんで懐かしい曲
を演奏して頂きました。

九月十五日(土)、北六甲台小学校の体育館で今年も「敬老のつどい」を高齢者の皆様に敬意をこめて開催することができました。残暑厳しい中、地域の各種団体ならびにボランティアの皆さんのご協力のもと、準備、運営に携わって頂き、手際よく作業が進み、これぞ地域力と、あらためて感じました。皆様方のお力添えに心から感謝申し上げます。

今年は少し趣向を変えました。「北六甲台小学校四年生」の皆さんによる素晴らしい合奏と合唱で心なごんでいただき、次に



第七回 敬老のつどい ご協力に感謝

副分区長 田中弘子

会場の皆さんも熱心に聞き入り、”君こそわが命”の演奏では、会場から二人の方が前に出て見事な歌声を披露して会場を盛り上げて頂きました。



お楽しみ抽選会の抽選風景

最後は、お楽しみ抽選会です。三角くじの抽選で一等から四等までの景品(復興支援の宮城県特選品)を準備しました。

白井さんの名司会で楽しいひと時をお過ごしただけたのではないかと思います。出演の皆さん、本当にありがとうございました。

北六甲台分区でも高齢化が着実に進みつつあります。お互いが、支えあつて過ごせる地域福祉活動の輪を広めていきたいものです。

当分区では、ふれあい喫茶、福祉講座、ふれあい交流会などの集える活動も行っています。一層のご支援で、大きな

公民館講座

日時：10月20日1時30分
会場：山口公民館
申込：904-0287

蒸気機関車が

寄稿

日高 昭夫



廃線直前まで走っていた蒸気機関車と同型機

旧国鉄有馬線物語

十月二十日(土) 一時三十分から山口センター三階の山口公民館で公民館講座「第七回・山口風土記」を開講します。今年のテーマは、かつて山口町を走っていた「国鉄有馬線」です。

「有馬線の概要」「廃線跡の風景」「現存するモニユメント」「中野の橋脚跡」「有馬線の昔の写真」「有馬線の思い出の証言やエピソード」などを、豊富な画像を駆使して、色々な角度から紹介します。

以前、社協広報部で活躍された北六甲台の吉田和男さんは、有馬線研究の先駆者で同じテーマで公民館講座も開講されました。今は亡き吉田さんから、蒐集された数々の貴重な資料を託されました。今回の講座では、吉田さんの遺

有馬く有馬口の廃線跡を 歩く

十一月十日(土)には、有馬線の終着駅「有馬駅跡(乙倉橋)」から山口の停車駅「有馬口駅跡(光明寺前)」までの廃線跡を散策します。

乙倉橋の開通当時の風景を描いたモニユメントや、現在バイパス工事が進む中野の橋脚跡の様子なども見学します。中野の東山麓には廃線跡と同じルートでバイパスが開通しています。高田外科病院付近では、かつての線路近くにあった夫婦松の跡を確認します。平成橋横の芽具実橋辺りに有馬線の有馬川架橋がありました。公智神社神社前の南北の道は、地元では線路道と呼ばれていました。光明寺前には西川に架か



公智神社前の線路と遮断機

出演者の感想 合奏と合唱

子供たちの「頑張り」の経験

北六甲台小学校4年担当 内田英樹

4年生112名は「敬老のつどい」に向けて、1学期から音楽の授業で、合唱「子供の世界」とリコーダー奏「オーラリー」に取り組んできました。子どもたちは、地域のおじいちゃん、おばあちゃんのためにすてきな演奏を聴かせたいと、毎朝がんばって練習を重ねてきました。当日はステージの上で堂々と胸を張っている姿を見て、大きく成長したことを感じる事ができました。ある児童が次のような作文を書いてくれました。

「敬老のつどいに参加しました。なぜ参加したかという、近所に住んでいるおじいちゃんやおばあちゃんに楽しんでもらい、長生きしてほしいからです。その敬老のつどいで頑張ったことが3つあります。1つ目は朝練です。2つ目は本番前にした発声練習です。最後は本番の敬老のつどいです。おじいちゃんたちの前で大きな声で歌うことを頑張りました」。子供たちにとって自分自身が頑張ったと思える経験になったようです。



参加者の感想

9月も中旬になりますと、暑い日中でもふと風の涼しさを感じさせてくれる頃ですのに、今年の暑さは格別！ご近所の方々と誘い合い参加させて頂きました。冷たいお茶とウチワも用意して頂きました。

例年通りに、分区長の挨拶に始まり、来賓紹介、そして小学生のリコーダー合奏と合唱。カー杯の気持ちのよい演奏で心を和ませて頂きました。

そしてジャズ演奏！懐かしい曲で若かりし頃を思い出してニヤニヤとされた方も！カラオケ形式の参加もあり、参加者自身も一緒に演奏しているという満足感を感じることができました。

最後は今年初めての企画「お楽しみ抽選会」で、参加者の一層の「楽しい」を造って頂いたと思います。「何が当たるかしら？」とワクワクした期待感！

楽しい敬老のつどいを持たせて頂き、ありがとうございました。

今年は、演目を絞り込み、新たに抽選会を取り入れ、視点を変えた内容は新鮮味があり、良かったと思いました。

小学生の初々しさや、ジャズ演奏も青春時代を思いたす懐かしい曲ばかりで楽しいひと時を過ごすことができました。出席者の感想では、ジャズ演奏の素晴らしさとともに「もっと日本の曲を多くした方が」「誰もが知っている童謡を入れれば」などの声がありました。抽選会は多くの人が支持し、大成功だったと思います。

残念だったのは、100名にも満たない参加者の少なさです。一朝一夕では改善できないものの、主催者、対象の高齢者、地域の方が、一体となって盛上げる努力が必要ではないでしょうか。老人社会になった今日、高齢者も地域の催しに積極的に参加し、自分たちの存在をアピールすることで、地域を盛り上げる手助けにもなるのではないのでしょうか。

敬老のつどい

出演者感想 ジャズ演奏

バンド名の由来は 「いつまでも若々しく元気な姿」

エバーグリーン・ジャズオーケストラ
バンドリーダー 津野 啓三

第7回「敬老のつどい」に参加して演奏させて頂いたことに感謝しています。メンバーも真夏の暑い中精一杯頑張りましたが、皆様お楽しみいただけましたでしょうか？

エバーグリーンの由来は、何時も青々した常緑樹、昔から受け継がれた愛唱歌、いつまでも若々しく元気でいる様子を表す言葉です。メンバーにも敬老会参加資格の2名と準資格者も5名ほどが演奏し、期せずして敬老会にはぴったりの名前のバンドと思っています。

朝早くから準備された関係者の方々、当楽団担当でお世話頂いた方々には、メンバー一同感謝しています。ご当地の矢口良治氏が当楽団に在籍している関係で参加依頼をいただき、打ち合わせもスムーズにさせていただきました。

また、「君こそ我が命」の全員歌唱コーナーでは、突然お願いしたにもかかわらず、お二人に前に出て歌っていただき大いに盛り上がりました。

私たちの演奏で皆さんがお元気になられ、喜んでいただけたら光栄です。これからも健康に留意され長生きされますようお祈り申し上げます。本当にお世話になり、ありがとうございました。

